



けやきだより

No. 24

発行者：社会福祉法人みらい

社会就労センター けやき	〒507-0827	多治見市平和町6丁目364番地
TEL 0572-22-1011	FAX 0572-22-0911	
E-mail keyaki@violin.ocn.ne.jp	URL http://www.mirai-tajimi.or.jp/	
社会就労センター 第2けやき	〒507-0827	多治見市平和町5丁目28番地
TEL 0572-26-8600	FAX 0572-26-8605	
社会就労センター 第3けやき	〒507-0827	多治見市平和町7丁目23番地
TEL 0572-26-9902	FAX 0572-26-9925	
けやきカレッジ	〒507-0065	多治見市根本町3丁目90番地
TEL 0572-26-8646	FAX 0572-26-8975	
サポートセンター Uライフ	〒507-0058	多治見市平井町4丁目73番地
TEL 0572-29-1520	FAX 0572-26-8588	
相談支援センター リンク	〒507-0058	多治見市平井町4丁目73番地
TEL 0572-26-9205	FAX 0572-26-9263	
生活支援センター CSポート	〒507-0827	多治見市平和町7丁目49番地
TEL、FAX 0572-26-8804		
共同生活援助事業(グループホーム) 「ぶなホーム1,2」「これホーム」「ならホーム」「とちの木ホーム」		

法人27年度計画

(社福) みらい理事長 柴田勇夫

日本の財政健全化に向けた道のは厳しく、今年度は障がい福祉に対する予算額や給付金などの減額もあり障がい者の人権、生活を守っていく為にも、予定通りの消費税の増税の実施とその増税分を社会保障費での利用により、障がい者福祉の充実が図られる事を望んでいます。

また、全国で社会福祉法人の不祥事が新聞報道されたこともあり、福祉に対する世間の目が厳しくなる中で、厚労省の「社会保障審議会福祉部会」で「社会福祉法人制度改革について」の話し合いが行われ、27年2月に報告書が提出されました。

この中では、基本的な視点として「公益性・非営利性の徹底」「国民に対する説明責任」「地域社会への貢献」をあげ、地域における公益的な取り組みを社会福祉法人の社会的な使命としています。

また現在厚労省では、28年4月の差別解消法の施行、総合支援法の3年後の見直しなど法律の整備の為に検討会が始まっております。

この状況の中、当法人の27年度事業計画概要は以下になります。

1)「みらい5カ年計画」の2年目を迎えました。計画以上に全ての事業で利用者の増加が見られ、職員の確保が課題となります。

2)全ての職員のスキルアップを目指し、人材育成の推進を図る。

3)第2けやき分場は第3けやきとして単独事業所となります。日中活動事業は4事業所体制となり、幅広い障がい者に各事業所で個別に対応できる体制を構築する。

4)けやきカレッジでは、引き続き就労支援、就職後の生活支援・定着支援を進める。

5)Uライフでは療育活動、重度対応など専門性の向上を図っていく。又事業スペースの増設も検討する。

6)リンクでは職員1名増によりサービス利用計画書の作成や市委託の一般相談事業の充実を図る。

7)CSポートのグループホーム事業では、利用者の入居希望者が多くあり、受け入れ体制を整える。

以上の項目を重点的に実施していきますが、全ての利用者を生涯に渡っての支援をしていく為にも、仕事のみならず生活支援の充実も図っていきたくと考えております。

みんなの作文コーナー

けやきに入って

水野 裕貴

四月から入社しました。知っている仕事なので続けたいと思っています。

「だいぶできるよになったから、あとは手が止まってしまうことが一回もなくなると一人前」と職員さんに初めてほめられました。できるようになってうれしかったです。ここで働き続けられるようにがんばりたいです。職員さんから「五分間立ち続けることができました」、「指示通りできていたよ」とほめられました。手が止まってしまう時間をなくして一年間で一人前になりたいです。

自己紹介

安藤 良希

今年の4月から入社した安藤良希です。東濃特別支援学校から来ました。その前は、泉中でその前は泉小でした。楽しかったことはサッカーです。小学校から高校までサッカー

をつづけました。しゅみは、うたをうたうこととテレビを見ることです。すきな食べものは、からあげとラーメンとぎょうざと肉と焼きそばです。せんばいにおいつけるようにがんばりたいです。

がんばりたいこと

深谷 建登

ぼくが調理班でがんばりたいことは、ていねいに500円弁当のもりつけをがんばりたいです。もりつけがおわつたらしっかりと大きな声でほうこくをしたいです。もりつけするときにはわからないことは職員にきく。ゆかにこぼさずにもりつけをする。ものはいねいにあつかう。職員から指示をされたら「はい」と大きな声で言う。もりつけをするときはぼうしをさわらないようにする。お皿の周りをよごさずにもりつけをする。エプロンのひものうしろをがんばって一人でむすびたいです。

けやきでがんばりたいこと

中川 晃児

自分から気づいて動いたり相手に聞こえる返事をしたり、自分の気も

ちをちゃんとと言えるようになりたいです。

ほうせいでがんばりたいこと

池田 重美里

ミシンをつかってぬえるようにがんばりたいです。ミニポーチをつくれるようにがんばりたいです。コースターもつくれるようにがんばりたいです。シュシュもつくれるようにがんばりたいです。けやきまつりにさんかしたいです。えいがかんしゅうをしたいです。しせつがいさぎょうをしたいです。のうひんにさんかしたいです。りょうりをしたいです。

たのしいよ

良盛 真子

はじめまして。ややもりまこです。第2けやきE1はんでおしごとをしています。

けやきはたのしいです。はじめてのおきゅうりようで、だいすきな「フロスティ」をかいました。みなさん、よろしくおねがいます。

けやきに入って

伊戸 稔貴

東濃特別支援学校を卒業してけやきに入りました。

けやきに入って半月が経ちました。がだんだん慣れてきました。

僕はけやきに入る前は学校にほとんど行けませんでしたが、だから最初はけやきに行けるか不安でした。だけど今はいろんな人のおかげで行けるようになりました。これからこの調子で頑張りたいです。

けやきに入って

岩井 裕樹

今年の四月から、第3けやきのサブコンはんに入りました。

毎日箱おりを頑張っています。手ぶくろをして、箱を50おります。職員さんがわからないときは教えてください。

けやきに入って

太田 舞

私は、けやきに行くようになってからがんばっています。第3けやきは、楽しくやっています。働くようになって、私はタイムふきや納品にも

行きました。赤飯もやりました。友達もできました。

これからの目標は、みんなといっしょに行動すること。時間いっぱい作業することです。職員さんとこれからもいっしょにがんばっていきたいです。

家に帰るとホッとしています。ときにはやさしくときにはきびしくされることもあるけど、みんなのおかげでやっていきます。

けやきに入って

竹之下 沙樹

私は、第3けやきへ行ってお金をもらいに行っています。サブコン1、2、3とあります。ダンボール班とうき班、箱折り班があります。

私が好きなのは、せきはんの帯つけです。まだやっていない仕事もやりたいです。どれもお金をもらえるから嬉しいです。でも難しい作業もあります。

陶器まつりでは、沢山のお客さんが来てくれて嬉しかったし、品物も売れて嬉しかったです。

作業は、分からない事や困った時は、職員に聞いています。昼休みには友達のCDをいつも聞いていま

す。毎日が楽しいです。

けやきに入って

鵜飼 恭成

僕は今まで第3けやきで箱折り、おせきはん、とうきはん、ダンボールの箱づくりなどやってきました。かんたんすぎたようです、僕としては。

あと、いづれけっこんしたいです。空手のしりあいもどってこられたら、するつもりです。だから、1年がおわったら、カレッジかいっぱんしゅうろうしたいです。でなければ、やしなうことすらできないからです。

いいたいことはこれです。ありがとうございます。とうございました。

けやきに入って

屋比久 隆海

ぼくは、だい3けやきでお仕事をしています。がんばっています。毎日歩いて通っています。給食がおいしいです。がんばっていきます。よろしくおねがいします。

けやきカレッジに来て

加藤 桂子

1月5日から利用することになり、今までしんどかった事、どうしようもなかった私がいきました。でもけやきカレッジに職安の方にすすめられて来ました。

過去の自分には戻りたくないの、前を向いて歩いていきたいけど、どうしようもない時があつてだれにも言えなくて、2、3日考えてしまいう私がいいます。自分の心を何とかしたいと思っています。

自分自身どうかわつたのかわからないけど、もう少し言葉にトゲのないよう言えると思つていきます。精神的に心を落ちつかせてがんばりたいと思つてます。

けやき

伊藤 照泰

ぼくは、このけやきに入って作業をがんばりたい。クローバーをたくさん作れるようにがんばりたい。作業をおぼえたい。はやくいっばんしゅうろうしたいです。

けやきカレッジで頑張りたい事

山田 由美

土日や休日の日にしっかりと体調を整えて、毎日元気にけやきカレッジでいろんな事にようせんしていきたいです。

一般就労が出来るように、面接のマナーの勉強を頑張りたいです。

一般しゅうろうをめざして

鈴木 秀規

私は、どうしてカレッジにはいったかといいますが、一般しゅうろうするためにここに入りました。

4月から入って数日たちました。まだなれないことがあります。スーツをきて勉強したり新しい仕事はいつてきてたいへんです。それでも私は、しゅうしよくをめざしてがんばっています。

私は、じもとではたらかたいとおもっています。なぜなら人口もへつてきて町はどんどんすいたいしてきています。家が豆腐屋なのでそこではたらかたいとおもいます。

けやきカレッジ

渡辺 健史

僕は、3月3日からけやきカレッ

ジに入った渡辺健史です。僕は自分が一般の会社に入るという目標をもつてがんばっています。

入ったときは、きんちようと不安でいっぱいでしたが、さいきんはなれてきて、すっかり作業もやれることがふえてきました。これからも、さらにやれることを増やして自分にあつた仕事をさがしていこうと思っています。

けやきカレッジで、自分の目標をたくさんみつけていきたいと思っています。みなさん、いっしょにがんばっていきましよう。

けやきカレッジに入って

山本 光

私は、4月からけやきカレッジの利用を始めました。カレッジでは、ながい時間立ち仕事をしたり、ながれ作業だったりとても大変です。

でも作業中の職員の人や、いままで利用してる人のアドバイスや注意ではやくできるようなった仕事とかがあります。大変だけど、とてもやりがいと達成感を感じることができました。これからも一般就労するための力をこのけやきカレッジで身につけたいと思います。

けやきカレッジ

森川 佳那子

さいしよは、入るときにきんちようしました。なれない作業がありました。はじめて行ったのうひんさきは、みのやきだんちのおりべでした。ウォーキングで体力がつかまりました。クローバーでむすびとこよりが

じょうずにできました。かとうけんまのそうこに行きました。ガラスとピンとコップとさらをやりました。さいしよはわからなかつたけどだんだんわかるようになりました。いっばんしゅうろうをめざしていきたいです。

けやきカレッジ

伊藤 幸司

自分はけやきカレッジで皆と一緒に楽しくがんばってやっていきたいです。

まだにがてな作業があるけどおちついて作業とかができているので、のぼせるところはのぼしていききたいです。

自分は、はたちでしゅうしよくできるようにコミュニケーションがた

くさんできるようになりたいのと、めんどくさがりをなくしていきたいです。

チームスポーツとかいろいろ体をうごかしたりできるから楽しいです。今がんばっていることは、作業をおぼえることと、コミュニケーションをとることです。

けやきカレッジに入って

安藤 嘉記

ぼくは、初めてけやきカレッジに入っても大変なことがありました。作業で、細かい作業や大きい作業でどんどん新しいことが入ってくるので、とても大変です。

講座では、身だしなみや面接練習などもあり、とても大変です。クローバーの作業でも、破れないように型切りや結び、広げ、こよりなどをやらないといけないので、大変だと思いました。

2年後には一般就労ができるようにしていきたいと思えます。今は外の活動はまだやっていませんが、夏るときでも、最後まで仕事をがんばれるようにしたいです。

けやきカレッジ

吉川 竜平

ぼくは、3月22日から入りました。けやきカレッジでやる作業は、やり方をおしえてもらえればしっかりできます。クローバーは、細かい所も見てすっかりできました。袋詰めや箱詰めは、手ぎわ良くやる事ができました。講座では、マナーや面接をやっています。社会人になるまでに、けやきカレッジで頑張りたいです。

けやきカレッジでがんばること

杉谷 彩佳

私はまだ、けやきカレッジに来て間もないです。まだわからないことがたくさんあるから不安もありますが、でも、まだまだこれからいろいろわかるようになると思うし、きつともだちもたくさんできると思うので、がんばっていききたいです。

毎日40分あるいてかようので、体もじょうぶになるかと思っています。けやきカレッジを卒業したら、いいところにしゅうしよくして、お金をいっぱいためて、早くけっこんしたいです。けやきカレッジでいろんな仕事ができるようにがんばります。

新人職員の紹介

自己紹介

第3 けやき 中西 絢子



初めまして。1月から職員として働かせていただいております、中西絢子（なかにしあやこ）と申します。4月からは新しい第3けやきの担当となりました。学生時代には社会福祉を学び、これまで違う職場で働いておりましたが、縁あってこちらで働かせて頂けることとなりました。

働き始め4ヶ月が経ち、日々覚えることも多く大変さも感じておりますが、利用者さんが真面目に丁寧に仕事に取り組む姿を見て私自身もつと努力していかねければと痛感しました。

また、私はお喋りが好きなので休憩中には利用者さんと楽しい話や面白い話など色々な話が出来、とても楽しく充実した毎日を過ごしております。けやきでは、日々の作業以外に余暇活動やお祭り、旅行など様々な活動があるので私自身とても楽しみにしています。

まだまだ至らない点も多くご迷惑ご面倒お掛けするかと思いますが、先輩職員のアドバイスを受けながら利用者さんの一人ひとりと向き合っている、利用者さんと保護者の皆様に安心して信頼される支援員になりたいと思っております。日々より良い支援とは何か利用者一人ひとりのことを考えながら支援し、また利用者さんと働くことや将来のことを一緒に考えていけるような支援員を目指していきます。そして、けやきがいつまでも居心地の良い場所であることを考えて環境づくりをしていきたいです。

けでした。それまでは、障がい者の方と接する機会がなく授業の中で学んだことばかりの知識しかありませんでした。実習時、どのように接したら良いか？どのように言葉掛けしたらよかったです。利用者の方と関わっている中で、一人一人の性格、個性を知り正面から向き合っていくことで、利用者の方と関わっていく喜び、楽しさを感じることができました。また、障がい者の方を取り巻く環境の難しさを知ることができました。

けやきの職員になって

第2 けやき 佐藤 弘幸



今年度から第2けやきのEG班を担当させて頂くことになりました。佐藤弘幸（さとうひろゆき）です。よろしく願います。昨年まで、大学の人間福祉学部で福祉について学んできました。私がこちらの施設を初めて訪れたのは3年生次に社会福祉実習をさせて頂いたことがきっかけ

その後、けやき祭りでのボランティア、Uライフでのアルバイトをさせて頂いたいただき、試行錯誤しながら日々利用者の方とコミュニケーションを図ることで自分自身の障がい者に対する接し方、見方が徐々に変わってきたように思えます。経験を積み重ねることで、利用者の表情が徐々に和らぎ、私に話しかけてくれるようになった時は、仕事に對しやりがいを感じる事ができました。けやきの職員の方からの勧めをいただいたこともこの仕事をすることができたきっかけにもなりました。

今、アルバイトから正職員となり、ますますその責任は大きくなりますが、自分が利用者の方々から信頼される存在になれるように日々努力していきたいと思えます。けやきの職員となり一ヶ月ほどが経ちました。利用者とは毎日接することとで毎回新しい発見があり学ぶことが多い日々です。常にアンテナを広げ、利用者の何気ない言動をひろい、いつでも利用者とは正面から向き合えるような職員を目指しております。至らない点も多くご迷惑をお掛けしますが、これからもよろしくお願います。

けやきに就職して

第2 けやき 渡辺 亜希



4月から第2けやきのEL班で働かせて頂いています、渡辺亜希（わたなべあき）と申します。大学では福祉を学んできました。私は、障がいを持つ方が大人になった時、生きやすい環境を創りたい、一生懸命に頑張っている障がい者の方達のことをもっと多くの人たちに知ってほしいと思ひ、障がい者支援に携わろうと決めました。

毎日、利用者の方たちと接する中で、利用者の方が抱えている課題や

問題がとても多いことを実感しています。そのような状況の中でも、少しでも利用者の方にとつて、笑顔で過ごせる日が増えるように支援していきたいと思つています。そのため今の私が出来るとは、利用者の方の様々な面を知ることだと思つています。利用者の方の好きなことや得意なこと、苦手なことなどを知り、一人の人間としてどのような方なのかを私自身が知つていくことが第一歩だと考えています。また、利用者の方が抱えていることを話しやすい人でありたいと思つています。利用者の方が抱えていることが少しでも軽減されるように、良い方向へ向かうように一緒に考えて、進んでいけたらと思つています。

そして、地域の人やあまり障がい者の方と関わつたことのない人にも利用者の方の一生懸命に作業を行っている姿やいろいろな場面で輝いている姿を知つてほしいと思つています。利用者の方の良さを知つてもらえるように伝えていくことも支援者として私が出来ることなのではと感じています。利用者の方と毎日接している私だからこそ、伝えていける利用者の方の良さを多く見つけていきたいと思つています。利用者の方が、地域の中で、社会の中で生きていく喜びを感じられるように、少しでも

力になっていきたいと思つています。

まだまだ未熟で、多くの方に迷惑をおかけすることも多いと思つますが、これから利用者の方と一緒に一歩一歩、前に進んでいけるよう努めていきたいと思つていますので、よろしくお願ひ致します。

けやきの職員になつて

第2 けやき 三宅 彩乃



今年度より、第2 けやきの職員としてE.L班を担当させて頂くことになりました。三宅彩乃(みやけあやの)と申します。よろしくお願ひ致します。

昨年度まで四年制大学で心理学を専攻し、勉強しておりました。以前より障がいを持った方々と関わる仕事が出来たいと思つており、けやきで働かせていただけるようになった事をとても嬉しく思つています。大学では心理学を専攻していたこともあり、障がいをもつている方の心理などの授業を選択し、勉強をして参りました。実際に現場に入つてみると勉強してきた事とは全く違い、戸惑うこ

とも多くありますが、毎日を楽しく過ごすことが出来ています。

私が障害者福祉に関心を持つようになったのは小学生の時です。当時、私が通つていた小学校には特別支援学級があり、掃除、外出活動などで定期的に関わりを持つ機会が設けられていました。初めはコミュニケーションのとり方が中々分からず、掃除をしてもらう際の声かけにも苦戦していました。ですが自分なりに声かけの仕方を考え、見本を見せながらともに掃除をしていく中で、だんだんと自ら掃除をしてくれるようになり、嬉しそうな表情も見せてくれるようになりました。それを見て、私も喜びや達成感を感じることが出来、障害者福祉に携わる仕事が出来たいと思つようになりました。

けやきで働かせていただくようになって約1ヶ月程が経ちましたが、毎日がとても濃くあつという間に時間が過ぎていくと感じています。利用者の方々と接していく中で、毎日のように新しい発見がありとても新鮮で学ぶことの多い充実した日々を送つております。支援者として利用者さんの個性や特性に合わせ、接し方や声かけの仕方などに悩む毎日ですが、頼もしい先輩職員の方々にアドバイスを頂きながら少しずつではあると思つますが成長していけたら

と思つています。至らない点が多く、ご迷惑やご心配をおかけしてしまうことがあると思つますが、利用者さんに信頼される支援者になれるよう努力していきたいと思つております。どうぞよろしくお願ひ致します。

けやきカレッジの職員になつて

けやきカレッジ 加藤 沙紀



4月1日より、けやきカレッジの職員として働かせて頂いております。加藤沙紀(かとうさき)と申します。

私は昨年度まで、大学では人間関係学部という学部で心理学を学んでおりました。大学在学中、ボランティア活動で知的障がいや発達障がいの方々と出会い、共に同じ時間を過ごす中で、支援をすることに對してやりがいを感じるようになり、障がい者支援に携わる仕事に関心を持つようになりました。

けやきカレッジで働かせて頂いて約1ヶ月が経過しましたが、できない事が多く、職員の方や利用者の方々からたくさんのお話を学びながら毎日過ごしております。一人ひと

けやき保護者会のページ

この子の成長に寄り添って

けやき保護者会 河地 市子

りに合わせた支援ができるよう利用者の方々とはコミュニケーションを取ってたくさんの事を知り、冷静な判断をして利用者の方々から信頼される支援員になれることを目指しております。そんな私がけやきカレッジの新人職員としてできることは、利用者の方々の手本となることだと思っております。けやきカレッジの利用者の方々は、挨拶や礼儀といった社会性がしっかりと身につけていらつしやいます。日々の生活の中で利用者の方々は真剣な表情で取り組んでおられ、労働の意義を理解した上で作業に励み、仕事に対してプロ意識がとて高い方々ばかりです。そんな利用者の方々にとって良い影響が与えられるように社会性を踏まえて、職員の方々のサポートや仕事を率先して行い、利用者の方々や法人のお役に立てる社会人を目指していきたいと思っております。

まだまだ未熟であり職員の方々の足を引っ張ることが多く、ご迷惑をお掛けしておりますが、これからたくさんの経験をしていく中で一人前の支援員となれるよう、努力をしていきたいと思っております。けやきカレッジの職員としての大きな成長を常に心掛けながら、襟を正して業務に励んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

娘が二歳半の頃、同年代の子とも

と遊べないということ、なかよし療育センターを紹介され通うことになりました。こだわりが強く、人と関わりが持てない、コミュニケーションがとれない：三歳で自閉症と診断されました。このとき私自身はそんなに重い障がいとは思っていませんでした。障がいに関して無知だった私は現実を受け入れられず、奈落の底に突き落とされたようでした。

年中から保育園に通えるようになり加配で保育士の方が付いて頂きました。あきらかに同年代の子達と違う行動をする我が子を目の当たりにして、私は障がいの認識をせざるを得ませんでした。それでも保育園を卒園する頃に小学校への入学通知書届いた時にはうれしくて涙があふれました。あの喜びは今でも忘れることができません。

しかし、小学校では他の生徒と生活することが徐々に難しくなり、三年生から校区外の特別支援学級に転校することになりました。担任の先生と密に相談しながら、娘がやりた

いこと、できることを取り入れながら授業を進めて頂きましたが、思春期は難しく、中学校、特別支援学校へと進むうちに、さらにこだわりが強くなりました。

特別支援学校を卒業してけやきでお世話になって四年になります。三年間は第2けやきで、部品の袋詰め、説明書折り、ギフトの赤飯包みなどの作業をしていました。

今年の四月からできた第3けやきに異動になり、新しい環境の中で引き続き軽作業に取り組んでいます。月2回の施設外作業や美容サービスをとても楽しみにして、予定が書いてある家のカレンダーを見て、お茶や美容院代を自分で準備しています。職員さんと金曜日に翌週のスケジュールを立てることで一週間の行動を理解し、落ち着いて過ごせるようになったと思います。

土曜日にある余暇活動も楽しみにして、スポーツ、花見、映画鑑賞、調理活動、色々ありますが娘はほとんど参加します。指導される方も娘達が楽しめるようわかりやすく工夫して教えて下さり、人と関わる事が難しい娘にも仲間意識が芽生えてきたようで、同僚と楽しさを共有する喜びを感じ始めたようにみえます。

けやきの年間行事は、子ども達に

とってはとても緊張する日ですが、反面楽しみでもあるイベントです。色々な方とふれあうことで社会性が育つという点で、とても大事な日になっていいると思います。新成人を祝う会での盛大なお祝いは、一生に一度の特別な思い出になりました。

私が保護者会の役員になり二年目に入りますが、パーベキュー大会、ボウリング大会、保護者同伴の日帰り旅行などの運営に携わる中で、子ども達がたのしめるよう工夫しました。新成人を祝う会では、新成人の席次表を祝いの席にふさわしいものになるよう考えたり、陶器祭りでは使用していた値札表を一新したりと、些細なことですが皆さんに喜んで頂けるのではないかと思います。

この三年間で私が娘の成長を感じたのは、大音量が苦手で大勢で合掌する場面では耳を塞いでうつむいてしまっていたのですが、けやき祭りで合唱の輪の中に参加しているのを見て驚きと喜びで言葉が生まれませんでした。小さな事ではありますが、娘の大きな成長だと感じています。

数々の経験を積むことでゆっくりとした足取りですが、一段ずつ確実に階段を上ってきているような気がします。道のりはまだ長いですが、これからもこの子に寄り添っていきたいと思っております。

日本財団様、24時間テレビチャリティー委員会様より車両の助成や寄付を受けました!

日本財団様より、送迎車両のステップワゴンを助成して頂きました。利用者の増加に伴い、受注する仕事の量も増え、下請け加工品を取引先企業様まで納品に行くことや、草取り、清掃などの施設外作業を行う現場までの送迎車両が不足しておりました。

送迎車両が整備され、送迎がスムーズに行えるようになったほか。仕事の受注量も増え、売上増となりました。利用者の方の工賃アップにつながると考えています。



ステップワゴン

もう一台は24時間テレビチャリティー委員会様より、車いすリフト付きハイエースを寄付して頂きました。生活介護事業を利用される方の中には車いすを利用される方もみえます。これまでリフト付き車両がなかったため、外出支援等車に乗る際には、車いすから普通自動車への乗の必要があり、安全に利用者の方を車に乗せることに課題がありました。

リフト付きハイエースでは車いすのまま電動で車内まで移動できるので、安全性が格段に向上しました。

今回助成して頂いた日本財団様、寄付して頂いた24時間テレビチャリティー委員会様には大変感謝しております。ありがとうございます。



車いすリフト付きハイエース

けやきへご寄付等戴いた方たちのご紹介 (27年5月現在、順不同)

※敬称は省略させていただきます

物品のご寄付を戴いた方

お名前	寄附内容	お名前	寄附内容
松菱産業(株)	白衣	廣瀬恒雄	野菜
※縫製用品・中古ジーンズ等 (株)甲山製作所、笠原小学校、平和中学校			

ボランティア活動を戴いた方

林冬美	水野加代	笠瀬美里	大嶽肇
千賀勢津子	渡村満寿子	日比野みち江	

編集後記

今年の3月で東濃や可茂、恵那の特別支援学校を卒業された20名の方がけやきの利用を開始されました。他に在宅から相談支援を通じて利用を開始された方もおり、けやき、第2、第3、カレッジの4事業所で利用者数は123名という体制で、平成27年度がスタートしました。

けやきが開所してから今年度で13年目になりますが、開所当初の利用者数が30名程だったことを思うと、これだけ多くの方に、「けやきを利用したい」思ってもらえるようになったことを嬉しく思うと同時に、これまで以上に充実した支援を行っていかねければと思っています。

支援を行うのは職員です。利用者数の増加に伴い、職員も法人全体で110名となりました。良い支援を行うには職員のスキルアップが欠かせません。新人職員にはもちろんですが、中堅、管理職の職員に至るまで、経験年数を考慮した段階的な研修を行い、職員の意識向上と専門的知識の獲得等、職員の育成に力を入れていこうと考えております。